

時事問題研究会

第1次テーマ 「原発問題を語り合う」	
研究期間	H24年11月～H25年9月
主旨	H23年3月11日の東日本大震災発生に伴う東電福島第一原発事故問題を発端に 原発の抱える問題点を論じ合った。
内容	<p>その論点は</p> <p>1, 原発は安全性を確保出来るか 2, 既存の原発55基はどう扱うのか</p> <p>3, 放射性廃棄物の処理・処分について 4, 代替エネルギーについて等であった</p> <p>研究会開催実績</p> <p>24年11月 研究会の発足、今後の方針討議</p> <p>25年 1月 東大CEEシンポジウム「原子力問題に正面から取組む」に参加</p> <p>2月 福島事故概要勉強会</p> <p>2月 東大シンポジウム「日本のエネルギー改革ー2030年を目指して」参加</p> <p>3月 「原発事故調査報告書」(公表された4件)の概要勉強会</p> <p>4月 原発の実態勉強会ー田中淳会員(IHIにて原子炉容器設計)招聘</p> <p>5月 核燃料リサイクル、放射性物質廃棄問題</p> <p>6月 原子炉廃炉問題</p> <p>7月 日本のエネルギー問題</p> <p>9月 研究員各人の意見、感想取り纏め</p>
備考	福島原発問題に関わる研究の発端は井上大介会員の自己研鑽成果に伴う提案であり SEF研究組織として採択運営する事となった。
参加会員	<p>幹事 重富紀理事</p> <p>会員 井上大介 黒山昭宣 丹治直昭 波多野正幸 眞鍋康雄</p> <p>松井武久 若木孝久</p>